

与謝野晶子 (よさのあきこ)



写真出典：平成 28 年度版堺市中学校社会科『わたしたちの堺』P43 堺市教育委員会

与謝野晶子は、明治11年 [1878年]に、堺の甲斐町(かいのちょう)に生まれました。菓子商(かししょう)「駿河屋(するがや)」の三女で、旧姓(きゅうせい)は「鳳 志よう」(おおとり しょう)とい

います。
家の手伝いで忙しい日々の中、堺女学校[現大阪府立泉陽高校(せんようこうこう)時代のたのしみは、文学作品(ぶんがくさくひん)を読むことだけでした。与謝野鉄幹(てつかん)が編集(へんしゅう)した雑誌「明星(みょうじょう)」が創刊(そうかん)されると、晶子も第2号に詩(し)を発表しました。鉄幹に才能をみとめられた晶子は、家族の反対をおしきって上京。わが国のロマン主義文学に新しい風をふきこみました。

Q. 与謝野晶子の作品ではなにが有名なの？

A. 明治34年 [1901年]に出した、歌集「みだれ髪(がみ)」かな。

あとは、日露(にしろ)戦争に戦いに行った弟の身を案じて詠(よ)んだ詩、「君死にたまふことなかれ」を発表したよ。でも批判(ひはん)の嵐の中にたたされてしまったんだ。しかし、晶子は「わたしは歌人(かじん)です。私は後世(こうせい)の人にわらわれないよう本当の気持ちを歌いたいとおもいます。本当の気持ちをうたわない歌に何の価値(かち)がございましょう。」といった考え方を発表したんだよ。

その後、女性の自立や教育などについても、自らの考えを発表し活躍(かつやく)したんだ。

Q. 与謝野晶子にまつわる場所ってある？

A. 堺市文化館「与謝野晶子文芸館(よさのあきこぶんげいかん)」があるよ。また、晶子の母校である泉陽(せんよう)高校内をはじめ、堺市各地に晶子の歌碑(かひ)があるよ。堺市には、与謝野晶子生家跡碑(よさのあきこせいかあとひ)もあるよ。

与謝野晶子文芸館はこのホームページにもあるよ！しらべてみてね。

出典：平成 28 年度版堺市中学校社会科『わたしたちの堺』P43 堺市教育委員会